

令和5年度
事業報告書

社会福祉法人 愛耕福祉会

令和5年度 社会福祉法人 愛耕福祉会

～経営理念～

社会福祉法人愛耕福祉会は次の5つの経営理念をもって、保育事業の展開を図り、社会福祉に貢献する。

1. 子どもの最善の利益を第一に考える保育園
2. 養護と教育を一体的に行う保育園
3. 保育の質の向上を追求し続ける保育園
4. 保護者や地域に「心から信頼される」保育園
5. 保育の専門性を生かし、子育て支援を行う保育園

このことを根底に据え、下記の行動指針を順守する。

○子どもが保育園での生活に満足し、全ての子どもが心から明日を楽しみ、保護者も子どもも預けたことに満足する保育園の実現を目指す。

○保育の質とは子どもの健やかな育ちを保障する「生活の場」としての保育環境の充実と子育て支援、地域支援のための保育士の専門性の向上を組織をあげて構築して行く。更に保育内容の適切な説明、保育態度、応対、マナーなど保護者の立場に立って考えて行動する。

○保育園運営の社会的責任を自覚し、保護者や地域社会の多様なニーズに応えるべく、待機児童の解消と就労支援に努める。

○保育に携わる者として、日々の研鑽に励み、よりよい保育の知識・技能を高め、常に自己の資質の向上を目指す。

○職員一同がお互いに理解し、協力を深めると共に、一人ひとりを尊重し、働きがいと誇りの持てる保育園づくりを進める。

○常に社会人としての自覚を持ち、社会的な良識に従って行動すると共に、地域社会から信頼されることを目指す。

令和5年度 総括

厚生労働省が今年2月27日に、外国人を含む2023年の出生数が、前年から5.1%減の75万8631人、死亡数は159万503人で過去最多、結果、わが国人口の自然増減数は「マイナス83万1872人」で過去最大の減少幅になったことを公表しました。これで出生数は8年連続減少し、過去最少を更新しました。国立社会保障・人口問題研究所が昨年4月に公表した将来推計人口では、外国人を含む出生数が50万人を割るのは2070年以降としていたものが、このペースで減り続ければ2036年にも割り込む可能性があります。少子化は日本経済の成長力や社会保障の持続性を左右することになり、日本にとって危機的状況です。ここ雲南市においても少子化が加速しており、今後、園児数の減少が職員の雇用や経営に直結する事態が顕在化してまいりました。

保育業界にとって厳しい市場環境の中、「雲南市立かもめ保育園」は雲南市から業務受託後、令和5年度は16年目を迎える、令和4年度より収支のバランス（保育事業収入と人件費）が改善したものの、法人設立以来、財務面でその屋台骨を担つて来た勢いに陰りが見えてきました。一方、雲南市から業務受託して7年目を迎える「雲南市立大東保育園」は、令和4年度同様、令和5年度も年度を通して保育単価の高い0歳児がバランス良く入園（延べ人数：令和4年度129名→令和5年度101名）することで業績が堅調に推移し、かつ収支のバランス（保育事業収入と人件費）が取れたことで大幅な収益増となりました。また、私立園として開園6年目を迎えた「みなみかも保育園」は、令和3年度までは順調に入園児を確保（入園児数：平成30年度41名→令和元年度66名→令和2年度72名→令和3年度74名）しましたが、令和4年度は想定より0歳児の入園が無く、園児数が減少（令和4年度67名）しました。その結果、収支のバランス（保育事業収入と人件費）が悪化したことで収益が大幅にダウンしました。令和5年度もさらに園児数が減少（64名）ましたが、人員体制を見直し、人件費を削減することで事業活動上の収支は改善しました。法人全体としては、業務委託園（雲南市立かもめ保育園／大東保育園）が収益の源泉として法人の財務面を支える構造は変わりませんが、社会福祉法人の財務運用ルール（委託費等の弾力運用）上、業務受託園（雲南市立かもめ保育園／大東保育園）の収益（剰余金）を私立園（みなみかも保育園）に流用出来ないことが、経営上、最大のネックとなっています。そのような状況の中、「みなみかも保育園」は建設費借入償還を一手に引き受けており、さらには令和5年度から本格的に「ふるさと融資」の償還が始まったことから、早期に単独施設による財政健全化を目指さなければなりません。

続いて、業務受託後16年目を迎える「だいとう病児・病後児保育室つくし」は子どもの健康安全上、安心して利用できる点を評価されており、令和5年度も堅調な利用がありました。一方で保護者に広く制度を認知されているとは言えず、かつ利用のしやすさにも課題が山積しているため、雲南市や民間ベンダーとの連携等が必要になりました。また、

「雲南市立大東保育園」内に併設している「雲南市ファミリーサポートセンター大東本部」は雲南市全域の子育て支援の拠点として、会員数を順調に増やし、雲南市全域の子育て活性化のための地域づくりに貢献しました。今後も「本部」として他拠点をしっかりとまとめ上げると共に、子育て支援に係る他の組織とも積極的に連携することで活動範囲を拡大して参ります。

これまで法人の財政面で屋台骨を支えてきた「雲南市立かもめ保育園及び大東保育園」も、早晚、少子化の影響を受け、この2園で法人全体の収益面をカバーすることが困難になることが予想されます。我々は「地域のセーフティーネット」としての役割を果たすために、物価高やエネルギー価格の高騰など喫緊の課題に直面しながらも、人口減少という大きな潮流のなかを突き進み、地域の福祉サービスを維持しなければなりません。そのためには的確に現状を把握し、中長期的な法人の経営戦略を検討することが必要です。そのためにも、当面は収入に見合った組織体制を構築することで財政健全化を早期に実現して参ります。

また「人事面」においては、令和5年度も法人の将来を担う職員を採用（既卒保育士1名／新卒保育士2名／栄養士1名／准看護師1名）することができました。令和5年度は自己都合による退職者（保育士1名／栄養士1名）2名と再雇用契約（満65歳）終了者2名 計4名の退職者もありましたが、人手不足が深刻な保育（福祉）業界にありながら、当法人は比較的順調に職員体制を維持しており、保育現場に混乱をきたすことなく経営することができました。しかしながら、反面、少子化に伴う入園児数の減少に伴い、新たに既存職員の雇用の維持が保育業界にとって大きな課題の一つになりました。「2040年問題（生産年齢人口の急減）」への対応が強く求められる中、このような「少子高齢・人口減社会」と、雇用・労働をめぐる環境や制度の変化、そして入園児の急減による定員割れがもたらすことでおこる雇用の維持という相反する問題に対峙しながら、職員が「元気に働きながら成長できる職場」、求職者にとって「魅力ある職場」づくりがこれからも必要であることに変わりありません。当法人はこうした外部環境の変化に対応するため、これからも職員が働きやすい職場づくりをスピード感をもって具体的に実践し、地域一番の「ワークライフバランス推進企業」として企業価値を高めて参ります。

以上

令和5年度 法人本部 事業報告

1. 理事会

○<第1回 令和5年6月5日（月）10時00分～11時30分>

報告及び議事

第1号報告 理事長の職務執行状況報告について

第1号議案 令和4年度事業報告について

第2号議案 令和4年度決算報告について

監事監査報告

第3号議案 定時評議員に提案する次期役員候補者の承認について

第4号議案 「定款」の変更について

第5号議案 「役員及び評議員等の報酬並びに費用弁償に関する規程」の一部改正について

第6号議案 「就業規則」の一部改正について

第7号議案 「給与規程」の一部改正について

第8号議案 「新型コロナウィルスに伴う特別休暇規程」の廃止について

第9号議案 「感染症予防業務手当取扱規程」の廃止について

第10号議案 定時評議員会の招集について

○<第2回 令和5年6月22日（木）11時30分～11時45分>

報告及び議事

第1号議案 理事長の選定について

第2号議案 「経理規程」の一部改正について

○<第3回 令和5年7月31日（月）13時22分～14時00分>

報告及び議事

第1号議案 専務理事の選定について

第2号議案 「定款施行細則」の一部改正について

第2号議案 「理事会運営規程」の一部改正について

○<第4回 令和5年12月25日（月）9時55分～10時55分>

報告及び議事

第1号報告 理事長の職務執行状況報告」について

第2号報告 専務理事の職務執行状況報告」について

第3号報告 「社会福祉連携推進法人あたらしい保育イニシアチブ」への入会承認について

第4号報告 「第10回しまねいきいき雇用賞」受賞について

第1号議案 「令和5年度資金収支第1次補正予算」について

- 第2号議案 「経理規程」の一部改正について
第3号議案 「就業規則」の一部改正について
第3号議案 「資格取得報奨規程」の一部改正について

○<第5回 令和6年3月19日(火) 9時55分～11時40分>

報告及び議事

- 第1号報告 「令和6年4月1日付」人事異動について
第2号報告 「令和5年度SAFEコンソーシアムアワード腰痛予防部門 中国四国ブロック賞」受賞について
第3号報告 「健康経営優良法人2024（中小規模法人部門）認定について
第1号議案 「令和5年度資金収支第2次補正予算」について
第2号議案 みなみかも保育園「運営資金の借入」について
第3号議案 「令和6年度事業計画」について
第4号議案 「令和6年度資金収支予算」について
第5号議案 雲南市立かもめ保育園及びみなみかも保育園「人件費積立資産取崩」について
第6号議案 「業務受託保育園並びにみなみかも保育園運営規程」の一部改正について

2. 評議員会

○<第1回 令和5年6月22日(木) 9時30分～11時20分>

報告及び議事

- 第1号報告 令和4年度事業報告について
第1号議案 令和4年度決算について
監事監査報告
第2号議案 次期役員の専任について
第3号議案 「定款」の変更について
第4号議案 「役員及び評議員等の報酬並びに費用弁償に関する規程」の一部改正について

3. 内部監査会

○<令和5年5月22日(月) 13時30分～14時45分>

議事

令和4年度決算内部監査

4. 監事監査会

○<令和5年5月23日(火) 13時00分～16時40分>

議事

令和4年度決算監事監査

5. その他

○<運営連絡協議会（法人管理職会）>

参加者 理事長・岩田専務理事・園長

開催数 12回

○<衛生委員会>

参加者 産業医（雲南市立病院・大谷病院事業管理者）・理事長・衛生管理者・看護師

開催数 12回

○<環境衛生検査>

内 容 学校保健安全法に基づく環境検査測定（照度・水質・ホルムアルデヒド・放射線測定）／上代 茂 評議員様ご協力の下、かもめ保育園／大東保育園／みなみかも保育園で実施

○<令和6年度入職員（保育士及び栄養士）採用試験>

日 時 令和5年9月30日

場 所 雲南市大東地域交流センター

結 果 保育士3名、栄養士1名採用

○<令和6年度入職員（看護師）採用試験>

日 時 令和5年11月29日

場 所 法人本部

結 果 准看護師1名採用

○<令和5年度正職員転換試験>

日 時 令和6年1月27日

場 所 雲南市大東地域交流センター

結 果 1名転換（応募者数2名）

○<登録／認定／受賞>

（1）名 称 「第10回しまねいきいき雇用賞」

受賞日 令和5年11月29日

（2）名 称 「令和5年度 SAFE コンソーシアムアワード 腰痛予防部門 中国四国プロック賞」

受賞日 令和6年2月9日

（3）名 称 「健康経営優良法人2024（中小規模法人部門）」

認定日 令和6年3月11日

以 上

令和5年度 愛耕福祉会 研修報告

月	日	研修名 (研修内容)	講師名	会場	参加者	備考
4	22 (金)	ごうぎんビジネスマナー研修		法人本部会議室	2名	
5	13 (土) 27 (土)	人権研修（発達障がい児への支援）	島根県立大学 准教授 西村 健一 氏	加茂交流センター大会議室 全職員		
6	14 (水)	生産性向上支援訓練 「ビジネスとSDGs（持続可能な開発目標）」 Aグループ 1日目	香川県中小企業診断士協会 岩本 大輔 氏	加茂交流センター	7名	
6	23 (金)	生産性向上支援訓練 「ビジネスとSDGs（持続可能な開発目標）」 Bグループ 1日目	香川県中小企業診断士協会 岩本 大輔 氏	加茂交流センター	10名	
7	13 (木)	生産性向上支援訓練 「ビジネスとSDGs（持続可能な開発目標）」 Aグループ 2日目	香川県中小企業診断士協会 岩本 大輔 氏	加茂交流センター	7名	
7	26 (水)	生産性向上支援訓練 「ビジネスとSDGs（持続可能な開発目標）」 Bグループ 2日目	香川県中小企業診断士協会 岩本 大輔 氏	加茂交流センター	10名	
8	16 (水)	生産性向上支援訓練 「DX人材育成の進め方」①	香川県中小企業診断士協会 島田 圭輔 氏	加茂交流センター	9名	
8	23 (水)	生産性向上支援訓練 「事業効率向上のための時間管理」①	有限会社 Willさんいん 金築 理恵 氏	加茂交流センター	8名	
9	14 (木)	生産性向上支援訓練 「DX人材育成の進め方」②	香川県中小企業診断士協会 島田 圭輔 氏	加茂交流センター	9名	
9	20 (木)	生産性向上支援訓練 「事業効率向上のための時間管理」②	有限会社 Willさんいん 金築 理恵 氏	加茂交流センター	8名	

令和5年度 雲南市立かもめ保育園事業報告

1. 保育の理念・保育目標・保育方針

【保育理念】

子ども一人一人の育ちを支え、保護者・地域と連携を図りながら信頼関係を深め、地域に愛される保育園をめざす。

【保育目標】

心身ともに健康で、主体性のある子どもを育む

【めざす子ども像】

- ・なんでも食べる丈夫な子
- ・自分のよさに気づき、自信をもつ子ども
- ・自分の思いや考えを表わす子ども
- ・人、もの、ことに意欲的にかかわる子ども

【保育方針】

○丈夫な体作りと基本的生活習慣の獲得

子ども達がこれから的生活を健康に過ごしていくために家庭と連携して、「しっかり食べる」「ぐっすり眠る」「いっぱい遊ぶ」というリズムを整え、丈夫な体をつくっていく。また、より良い生活に必要な基本的生活習慣が身につくよう低年齢からの継続した取り組みを行っていく。

○豊かな人間性の育成

0~5歳児までの6年間の成長発達を捉えた全体計画をもとに、一人一人に即した支援や、それぞれの学年の育ちに即した保育をする。安心感を基盤に豊かな心情や思考力の芽生えを培い、主体性のある子どもの育成をめざす。

○信頼される保育園

地域のひと・もの・こととの出会いを大切にし、保護者や地域の方々の協力を得ながらいろいろな人とのかかわりや多様な体験を通して故郷を愛し、しなやかに生き抜く力をもった子どもの育成をめざす。また、地域に親しまれる保育園になるよう努める。

2. 園児数

(1) 定員数 90名

(2) 年齢別園児数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
令和5年4月1日	1	18	18	13	17	17	84
令和6年3月31日	12	18	18	13	17	17	95

3. 職員体制

職員28名（正職15名）

・園長 　　　・主任保育士 　　　・保育士19名（内、3名育休） 　　　・子育て支援員1名
・看護師1名 　・栄養士2名 　　　・調理師2名 　　　・事務員1名

嘱託医1名 　　　嘱託歯科医1名

4. 健康支援と安全

◎健康支援

- ・感染予防のための衛生管理の徹底を行った。特に新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、検温や手指消毒、共有する物や場の消毒、換気を徹底した。5月8日以降感染症法上の位置づけが変わり、季節性インフルエンザと同じ5類感染症になったが、感染症対策は続けて行った。園の関係者から発症者や濃厚接触者が出ることがあったが、園内で広がることはなかった。秋にインフルエンザが流行し、特定のクラスのみで感染がひろがった為、衛生面への配慮を徹底した。
- ・保健指導…「看護師さんの話」の日を設け、3～5歳児対象に健康な生活を意識できるようにした。感染症対策（手洗い、咳エチケット、マスクについて）、熱中症予防、基本的生活習慣、ケガや体の話（歯、目）、いのち（誕生）の話等
- ・欠席状況、感染症発生状況を確認し、保護者に情報提供（掲示や保健便り）をした。
- ・個々の成長及び健康管理を行い、成長曲線を作成し保護者と共に理解を図った。
- ・基本的生活習慣の確立のため、かもめっこ元気モリモリ大作戦（年3回、6月、10月、1月）を実施した。1回目はメディアと早寝の達成率が低かったが、2回目はメディアの時間数は減っていた。1、2回目の結果をふまえ、3回目は達成率が低い挑戦項目の意識を高められるような取り組みを考え子どもと保護者へ発信することで達成率が上がった。
- ・嘱託医による健診（内科：9月、3月予定　歯科：6月）を実施した。

◎安全管理

- ・事故発生時の対応、防災対策、安全管理等に関するマニュアルを全職員が確認し、危機的状況が発生した場合にはそれに従って素早く体制がとれるように、事例をもとにシミュレーションを行った。
- ・園舎内外の安全点検、危険個所の改善、災害発生時の訓練を行うなど安全対策に努めた。
 - 安全点検（毎月）を実施し、修繕箇所は速やかに対応した。
 - ヒヤリハットによる安全対策の重視と共通理解（随時）を図った。
 - 災害時等想定の避難訓練を毎月実施した。
 - 火 災：4月、5月、8月、10月（消防署来園）、11月
 - 地 震：9月、2月
 - 風水害：6月　　雪害：12月
 - 不審者対応訓練：7月、1月
 - 交通安全教室　5月（大東駐在所さんの指導）9月（職員による指導）
 - 非常食の備蓄と管理をした。

※10月の消防署の指導（職員の消火訓練）により、火災受信機や自動火災報知設備の再確認し、全職員に周知した。

◎食育の推進

- ・地産地消を積極的に取り入れ、旬の食材を使った米飯を中心とした食事で、子どもたちが「心身ともに健やかに成長し、おいしく食べられる安心、安全な手づくり給食」を提供した。
- ・アレルギーのある子どもに対しては、完全除去食を提供した。保護者と情報共有し、一人一人の状態に合わせ、栄養士と看護師、保育士の連携のもと適切に対応した。
- ・園生活の中で「食」への興味関心をもち、より良い食生活の習慣が身につくように年間食育計画を作成し、日々の食事や行事食に活かした。

《食育のつどい》

3～5歳児を対象に実施（毎月）した。（給食室を知る、元気な体をつくる食べ物、よく噛んで食べる、飲み物について、元気なうんち、マナー、食べ物の働きを知る、感謝して食べる等）その内容を掲示版やHPで知らせたり、給食便りでレシピなど発信したりした。

《行事食、郷土料理、絵本献立、なかよし給食（アレルギー食品を使用しない）等》
伝統料理を調べたり新メニューを取り入れたりして子どもたちの「食」への興味関心を促した。

《栽培物のクッキング》

調理と保育の立場から検討し、クッキングを実施した。

5. 子育て支援

◎園開放

- ・地域の子育て支援として、毎週金曜日を園開放デーとし、希望者には給食を提供した。
その機会に子育ての相談や食育相談（離乳食の進め方）等を受けた。

◎一時預かり

- ・市内の保育施設に入園されていないお子さんを、月12日以内の利用で育児支援を行った。
就労のための利用や急な保育が必要となり利用される方に対応した。

◎延長保育

- ・仕事等により時間内に迎えに来られない場合、園で預かった。短時間保育のお子さんや勤家庭の都合で申請者数が増え、3月は41名の登録があった。
(標準時間保育：18:30~19:00 短時間保育：7:30~8:30 16:30~18:30)

6. 保護者との連携

- ・日々の送迎時や連絡ノート、個人面談やクラス懇談会等で保護者の思いや悩みを出せるよう笑顔で挨拶したり声をかけたりするよう心がけ、信頼関係を構築できるように努めた。新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類となったことで、5月9日より降園時は保育室前までの立ち入りを可能とし、9月より登園時の玄関までの立ち入りを可能としたことで、保護者と話す機会が増えた。1月より登園時の保育室前までの立ち入りを可能としたことでさらに保護者と話す機会が増えた。
- ・自由参加型の保育公開日を月1回（4、10、2月無し）設け、保護者が保育園に来て子どもの様子を見たり一緒に遊んだりできるようにした。希望があれば給食の試食ができるようにした。5月は27人、他の月は6~10人で、父母、祖父母の参加があった。父母が一緒に参加が増えた。
- ・園便り、かもめっこ便り（園長だより）、クラスだより、保健だより、給食だより、HP等、各自の専門性を活かした情報発信や保育方針に基づいた保育の様子を伝えるように努めた。また、Instagramを活用し園の様子が伝わるように努めた。
- ・PTA活動は評議員さんを中心に内容や方法を検討し、実施に向けて企画した。
夏祭り…保護者参加とし、飲食は無しで実施した。
運動会…3・4・5歳児対象に園庭で実施した。0・1・2歳児はクラス別に保育公開日を設け、親子でのふれあい遊びを実施した。
子育て講演会…クラス別に実施し、講師を招いて年齢に応じたお話をしてもらった。
保育士体験…焼き芋体験を一緒にした。参加者9名
環境整備作業…7/22、9/16 実施
- ・年度末に園運営についてのアンケートをとり、その結果を踏まえ保護者の要望に対する改善努力を図った。

7. 職員の資質向上

職員の資質向上のため年間研修計画を作成し、研修の実施及び研修の機会を確保した。研修後は復命により全職員の共通理解を図った。

◎園外研修

- ・県・市・社協等主催の研修（キャリアアップ研修等）
- ・県保育協議会の研究大会や研修、雲南保育協議会の保育公開や研修会等

◎園内研修

- ・愛耕福祉社会主催の研修（人権研修、AED研修、がん検診啓発研修）
- ・講師を招いての園内研究会

- ・エピソード研修

※職員の自ら学びたいという意欲を大切にし、受けたい研修を決めてもらった。

8. 他園・小学校等との連携

◎他園との交流

- ・大東保育園、みなみかも保育園との交流（5歳児）

加茂 B&G ラソンテで運動あそびをする。

- ・佐世幼稚園、西こども園との交流（5歳児）

◎小学校との交流

- ・阿用、佐世、西、大東、海潮、斐伊小学生との交流は学校によって1日入学に合わせて計画されているところがあった。

※小学校の先生のフォローアップ研修を受け入れた。

※小学校より5歳児の様子を見学するために来園。

※小学校長に研修を依頼し、自園の職員と小学校教諭と一緒に学ぶ研修を実施した。

◎中学生との交流

- ・ボランティア…夏祭りの手伝い…大東中学生3名

- ・夢発見ウィーク（職場体験）…大東中学生2名

- ・家庭科実習…大東中学2年生

- ・夢発見ボランティア…大東中学生（7月…1名、12月…6名）

◎高校生との交流は実施しなかった。

◎大東中学校校区保・幼・こ・小・中学校の一貫教育推進

「心豊かでたくましく生きる力をもった子どもの育成」のために連携を図った。

- ・大東中学校区学校運営協議会に参加（7/12 12/8 2/28）

- ・大東中学校のテスト期間に実施されるメディアコントロールウィークの取り組みに合わせて、『かもめっこ元気モリモリ大作戦』週間を実施した。（6月、10月、1月）

9. 地域との連携

地域の伝統文化の継承、地域の方との交流活動を推進した。

- ・飯田寿会さんとの交流…芋苗植え、芋ほり、焼き芋会

- ・アヨ有機農法塾さんとの交流…餅つき

- ・野菜作りの名人さんとの交流…野菜作りの相談、畑の見学、豆出し

- ・米農家さんとの交流…米ができるまでのお話を聞く。

- ・宮内舎さんとの交流…味噌づくり ※急遽、当日交流が中止となり給食担当者と行った。

- ・WoodPartyさんによるワークショップ…修了記念品（スプーン）作り

- ・地域での体験（柿採りや田んぼでの遊び、筍掘り）をさせていただいた。

- ・大東よいとこ祭りに参加（4、5歳児）

- ・JAしまね大東支部銭太鼓グループさんとの交流

- ・加多神社節分祭に参加（5歳児）

10. 保育に関する評価

◎園評価

園の保育目標から取り組み内容をクラス毎に評価し、保護者のアンケート結果（2月下旬に予定）と合わせて園全体の評価を行った。それを次年度に活かせるようにした。

◎自己評価

昨年度の振り返りから今年度の個人目標を明らかにし、評価を行った。また、評価項目に基づいて年2回、自己評価を実施。自己評価を踏まえ園長との面談を行い、更なるスキルアップに活かした。

令和5年度 雲南市立かもめ保育園 園児数の推移 (3月末時点)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4	1	18	18	13	17	17	84
5	2	18	18	13	17	17	85
6	5	18	18	13	17	17	88
7	6	18	18	13	17	17	89
8	6	18	18	13	17	17	89
9	7	18	18	13	17	17	90
10	7	18	18	13	17	17	90
11	9	18	18	13	17	17	92
12	9	18	18	13	17	17	92
1	9	18	18	13	17	17	92
2	10	18	18	13	17	17	93
3	12	18	18	13	17	17	95

令和5年度 雲南市立かもめ保育園 利用状況

延長保育			
月	登録者	利用日数	利用延べ人数
4	23	6	9
5	25	10	14
6	27	13	17
7	27	8	15
8	30	15	38
9	31	16	24
10	32	17	25
11	34	17	41
12	36	17	37
1	38	19	51
2	38	19	62
3	37	19	45
合計	37	176	378

一時保育		
月	開所日数	利用延べ人数
4	8	8
5	10	10
6	11	11
7	15	21
8	15	18
9	14	17
10	14	23
11	9	13
12	13	16
1	13	18
2	10	17
3	2	2
合計	134	174

土曜保育利用状況		
月	登録者数	利用延べ人数
4	33	62
5	31	56
6	34	64
7	34	83
8	32	59
9	32	59
10	30	63
11	30	71
12	30	75
1	30	71
2	30	66
3	30	80
合計	30	809

園開放実施状況		
月	利用日数	利用延べ人数
4	3	7
5	3	9
6	3	4
7	0	0
8	1	1
9	3	4
10	2	3
11	1	1
12	1	1
1	0	0
2	0	0
3	1	3
合計	18	33

職員研修參加表 (3月31日現在)
令和5年度

雲南省立ためめ保育園

事業名	開催日	開催場所	主な内容	研修会の特徴		担当課	実施状況
				対象者	実施回数		
『夢』発見プログラムや幼稚園運動プログラムについて 保育の中の音楽遊びについて	3名	Bロック保育研修 (三刀屋保育所)	市幼・こ・保ブロック研修	その他	3回	社会福祉協議会	大東保育園研修会
「適切保育と“こどもの権利”について 療育に基づいた子ども達への具体的な支援方法について	1名	Bロック保育研修 (大東こども園)	島根県中小企業同友会 合同入社式&新入社員研修	1名	2名	園内研修会	園内研修会
「子どもの権利」について 療育に基づいた子ども達の具体的な支援方法について	1名	Bロック保育研修 (田井保育所)	IS YOU幼稚園・保育 所指導者見学会	1名	2名	0歳児 り す組	0歳児 (さくらんぼ) 組
「子どもの命・人権を守る～Aさんだこ～ 安心して過ごせる場づくり～音楽で楽しく！問題行動の懸念を学ぼう～	2名	Bロック保育研修 (かもめ保育園)	しまね働く女性きらめき応援 塾ステップアップ編	1名	1名	1歳児 うさぎ組	2歳児 (ぶどう組)
愛着(アタッチメント)形成 成に課題のある子どもの理解と支援	1名	Bロック保育研修 (かもめ保育園)	社会保険事務講座 (全10回)	1名	1名	2歳児 ばんだ組	1歳児 (いちご組)
「食べる」と「食べる」の理得感と支援	1名	Bロック保育研修 (かもめ保育園)	島根県特別支援教育研究会 元気アッパー	1名	1名	3歳児 こあら組	2歳児 (ぶどう組)
「食べ物を楽しむ」 ～Aさんだこ～	1名	Bロック保育研修 (かもめ保育園)	健康経営セミナー 運動を楽しむ習慣化する ヨッ	1名	1名	4歳児 きりん組	4歳児 (ばなな組)
「安心して過ごせる場づくり～音楽で楽しく！問題行動の懸念を学ぼう～	1名	県保育協議会研修	島根県医療的ケア児等 コーディネーター 養成研修	1名	2名	5歳児 ぞう組 (2回)	5歳児 (めろん組)
療育を語る会	1名	県保育協議会研修	島根県中小企業家同友会 新入社員フローラップ 研修	1名	1名	新任保育士・ 保育教諭研修	1名
保健を語る会	2名	県保協総会	島根県東部発達障害者支援 センターーウィッシュユ	1名	1名	「優幼こ小の接続を考える」 園内研修会	みなみかも保育園研修会
「食べる」と「食べる」の理得感と支援	1名	主任保育士・主幹保育 教諭研修 (WEB)	島根県東部発達障害者支援 センターーウィッシュユ	1名	1名	3歳児 (こすもす組)	3歳児 (こすもす組)
実技研修「足育」	2名	食育推進研修	歯科保健事業者研修会	1名	1名	発達障がいと不登校・ ひきこもり	5歳児 (ひまわり組)
実技研修「絵画」	1名	保育者研修	はじめての手話体験教室	1名	1名	発達障害の早期気づき と支援	4歳児 (つばき組)
実技研修「音楽遊び」	2名	島根県保育研究大会	雲南圏域医療的ケア児の 在宅療養生活支援研修会	1名	1名	発達障がい支援 フォーラー2023	1名
「アロマグームで遊ぼう」	2名	施設長研修会	社会福祉法人会計事務者 決算講座	1名	1名	教育委員会	法人本部研修会
「日頃の保育を語る会」	2名	島根県保育研究大会	転倒災害 腰痛防止講習会	1名	1名	人権同和教育研修会(性 の多様性に係る指導につ いて)	1名
公開保育 四ツ葉保育 所	1名	施設長研修会	活動の切り替えがうまくできない 子へのかかわり方を考えるセミ ナー	4名	1名	教育職員人権・同和教 育懇話会	AED研修
公開保育 加茂こども 園	1名	島根県保育研究大会	しまね働く女性きらめき 応援塾レベルアップ編	1名	1名	就学前人権教育講座	人権研修
第1回保育を語る会	2名	施設長研修会	くらしの何でも相談窓口 ネットワーク事業研修会	1名	1名	管理職研修 (WEB)	がん検診啓発研修
第2回保育を語る会	2名	島根県保育研究大会	しまね教育推進研修	1名	1名	DX人材育成の進め ビジネスとSDGs (持続可能な開発目標)	3名
調査担当者会議	1名	島根県ミュニチイー ススクール全体会	しまね教育の日フォーラム	1名	1名	業務効率向上のための 時間管理	3名
「管理制度化による講演」 「管理制度化による講演」		島根県事業実践委員会	特別支援教育説明会	3名	1名	島根県人権教育実施モデ ル園事業実践委員会	1名

令和5年度 雲南市立かもめ保育園 主な行事

月 日	内 容	月 日	内 容
	4 月		11 月
4日	入園のつどい	2日	親子遠足(5歳児)
5日	第1回PTA評議員会	8日	保育士体験 焼いも
	5 月	10日	佐世幼稚園との交流会(5歳児)
12日	交通安全教室(大東駐在所より来園)	16日	西こども園との交流会(5歳児)
22日	尿検査(3・4・5歳児)	17日	サッカー教室(5歳児)
26日	芋苗植え(飯田寿会さんとの交流)		12 月
	6 月	4日	個人面談(3・4・5歳児 ~8日まで)
7日	笹巻づくり	8、13日	個人面談(2歳児)
9、12日	子育て講話・クラス懇談会(5・4歳児)	22日	クリスマス会
15日	歯科健診	28日	保育納め
20日	B&Gプール遊び(4歳児)		1 月
22日	第1回元気モリモリ大作戦(26日まで)	4日	保育始め
23、29日	歯みがき指導(4・5歳児)	11日	餅つき(アヨ有機農法塾)
30日	B&Gプール遊び(5歳児)	12日	新春のつどい(JA大東支部錢太鼓グループさんとの交流)
	7 月	18日	味噌づくり(4歳児)
7日	子育て講話・クラス懇談会(3歳児)	18日	第3回元気モリモリ大作戦(22日まで)
11日	プール開き	31日	あそボール(4・5歳児)
14日	第2回PTA評議員会		2 月
22日	第1回環境整備作業	2日	節分の集い
29日	第35回かもめ祭り	3日	加多神社節分祭(5歳児)
	8 月	17日	かもめっこ発表会(3・4・5歳児)
1日	体育遊び(5歳児)	22日	保育公開日(1歳児)
4日	B&Gプール遊び(4歳児)	27日	ぞう組修了記念品スプーンづくり(5歳児 Wood Party 錦織さんと)
8日	B&Gプール遊び(5歳児)	29日	保育公開日・進級説明会(2歳児)
14、15日	盆希望保育		3 月
	9 月	1日	PTA監査会
1日	B&Gプール遊び(4歳児)	5日	令和6年度PTA評議員選出手会
7日	内科健診	6日	保育公開日(0歳児)
16日	第2回環境整備作業	7日	令和6年度新入児入園前説明会・継続児健康診断
21日	愛耕福祉会3園5歳児交流会	8日	第4回PTA評議員会
22日	交通安全教室	13日	5歳児おわかれパーティー
22日	第3回PTA評議員会	14日	石飛市長さんの絵本の読み聞かせ(5歳児)
	10 月	27日	令和5年度修了証書授与式
7日	親子運動会(3・4・5歳児)	29日	保育修了・おわかれのつどい
13日	わくわくうんなんピック(3・4・5歳児)	30日	年度末希望保育
13日	保育公開日・子育て講話(2歳児)		毎 月
15日	よいとこ祭り(4・5歳児)	☆誕生会	☆保育公開・給食試食
18日	芋ほり(飯田寿会さんと交流)	☆発育測定	☆看護師さんの話
20日	保育公開日・子育て講話(1歳児)	☆園開放デー(毎週金曜日 4月より実施)	
24日	保育公開日・子育て講話(0歳児)	☆避難訓練(火災・地震・不審者他)	
25日	第2回元気モリモリ大作戦(29日まで)	☆園開放デー(毎週金曜日 4月より実施)	
31日	避難訓練(消防署より来園)		

令和5年度 だいとう病児・病後児保育室 事業報告

1. はじめに

令和5年度は、「だいとう病児病後児保育室」事業を雲南市より受託し6年目、「だいとう病後児保育室」より実質事業継続15年目となった。5月に新型コロナウィルス感染症が5類感染症に移行し、約3年間厳格な感染対策を継続したことから、様々な感染症が例年と異なる時期に流行することとなった。3年ぶりのインフルエンザの流行やコロナ感染症の流行継続もありながら、「つくし」は今年度も安心安全な施設運営を継続することができた。

利用数は年間を通して継続的にあり、前年度とほぼ同数であった。稼働率は前年からやや上昇した。疾患の流行時期に利用希望が重なるため、かもめ保育園の協力を得て職員を増員し安全に対応することができた。

2. 利用者の実態・・・別紙資料参照

- ・今年度延べ利用者数は351名で、年間を通して継続的に利用があった。年間稼働率は73.5%だった。特に4月から7月にかけて利用が多く4月は稼働率100%で、新年度に入りまだ環境変化になれない児童が体調を崩すケースが多かったと推測される。5月頃よりRSウイルス感染症の利用が増加した。例年冬場に利用が増加する傾向にあるが、今年度は比較的少なかった。

- ・今年度利用不可人数は52名で前年度よりやや増加した。感染症の流行時は利用希望が集中し定員を超える希望がある場合、他施設と連携しても予約がいっぱいで断られるケースがほとんどだった。1日で最大6名の利用を断るケースもあった。日々の利用数は感染流行の状況に左右されるため、事前に予測することが難しく予約システム導入時の課題でもある。現状予約希望があってから人員を確認する状況のため、事前に予約受付可能人数を把握することが必要となってくる。

また利用当日の朝予約をキャンセルするケースが109件あり、キャンセルの連絡がないケースもあった。予約が3名以上の場合は職員を増員し準備しているため、当日キャンセルを減らすための対策が必要である。予約システムの導入は当日キャンセルの課題の解決や利用不可数を減らすことにも繋がる方法であり、今後の導入に期待がかかる。

- ・利用者の病児・病後児の割合は病児37%、病後児63%で、前年度と比較すると病児がやや増加した。

- ・隔離と隔離不要の割合は、ほぼ同数だった。隔離は基本的に医師連絡票の記載通りに実施しているが、できるだけ多くの方に利用していただくため、雲南病院小児科医の指導のもと、同一疾患は同室で保育する場合がある。また隔離不要であっても、RSウイルス感染症や溶連菌感染症等の疾患は隔離を行った。

- ・利用者の居住地は大東町、木次町、三刀屋町が減少し、加茂町が大幅に増加した。これ

は加茂こども園とみなみかも保育園の児童の利用が増加したことに起因する。

・利用者の年齢は0歳児が3.1%、1歳児が45.6%と大幅に増加した。特に年末から3月にかけて0歳児と1歳児の育休明けの児童の利用が多く、所属施設で感染症に罹患し続けて利用するケースが多かった。

・利用の多い疾患は上気道炎で気管支炎や喘息性気管支炎等の呼吸器疾患を含めると全体の58%だった。全国的にインフルエンザの流行がみられた。当施設ではインフルエンザの児童の利用を解熱後に制限していることから、今年度の利用者数は6名だった。1月に感染性胃腸炎が流行し、特にノロウィルス腸炎の利用が続いた。他にも新型コロナウィルス感染症、アデノウィルス感染症、ヘルパンギーナ、溶連菌感染症等も流行がみられた。

また今年度は発熱の利用が多く、はっきりと原因が分からず利用されるケースが目立った。発熱後すぐの利用は疾患が特定されないことがあり、検査も個人の判断に委ねられていることから、より注意深く対応する必要があった。

・利用者の所属先は大東保育園が一番多く、加茂こども園、みなみかも保育園、あおぞら保育園が増加し、かもめ保育園、三刀屋保育所は減少した。

・利用者数は延べ351名のうち、利用実人数77名、世帯数は60世帯だった。利用回数の多い児童は22回にのぼり、同じ児童や兄弟姉妹での利用が多かった。利用実人数と世帯数は少しづつ増加している。

・定員4名のところ、1名または2名の利用が全体の70%、3名利用が39日、4名利用が14日で全体の30%となった。

3. 今年度の活動

・利用者一人ひとりに合った個別保育を行い、ほとんどの児童が無事回復への経過をたどった。病状により途中で保護者に連絡を要するケースは14件あったが、そのうち受診を勧めるケースが7件あり、受診後そのまま入院するケースが2件あった。入院までには至らなくても十分な経過観察を要するケースもあった。なかでもRSウイルス感染症は細気管支炎を起こすことがあり、利用中に喘鳴等の呼吸困難を伴う利用者に受診を勧めるケースが2件あった。呼吸困難を伴う利用者をどこまで預かるのかは目安がなく、判断が難しいところである。協力医療機関の雲南市立病院は、併設されている施設と異なり病状悪化時にすぐに受診できる環境にないため、子どもの病状は急変しやすいことを考慮すると早めの対応と相談できる指導医の存在が必要と考える。

また病状の急変に備え雲南市に相談したところ、AEDを設置する予定となった。けいれん時や非常時のマニュアルを見直し、緊急時に落ち着いて対応できるように備えたが、今年度急変や事故により緊急の対応が求められるケースはなかった。

・利用者数の増加に伴い第3保育室の使用頻度が増したため、子ども政策課に依頼し窓側に安全柵を設置した。サッシも透明で道路から中の様子が見えるため、今後窓用目隠しフィルムを使用予定である。他にも保育室の安全を考慮し、新たに3ヶ所柵を設置し環境

を整えた。また地震等の災害時に備えて棚の固定を強化した。

- ・5月に新型コロナウィルス感染症が5類感染症に移行したが、マスクの着用・手洗い・手指消毒の励行・室内アルコール消毒・定期的な換気・玩具の消毒等の感染対策は継続した。感染性胃腸炎や手足口病、咽頭結膜熱等はアルコール消毒が効きにくいため、次亜塩素酸ナトリウムでの消毒を徹底し実施した。

また雲南市子ども政策課と連携をとり、コロナウィルス感染症やインフルエンザに罹患した児童への対応を明確にした。5類感染症に移行後も新型コロナウィルス感染症の診断を受けた場合は自宅待機となることから施設を利用できないが、今後変更になる可能性もある。インフルエンザの場合は解熱してからの利用となっていたが、基準が明確でなかったため、解熱は37.5℃以下とし、解熱後24時間を経過してからの利用とする基準を設けた。

- ・7月につくしパンフレットの見直しを雲南市子ども政策課と相談しながら実施した。文言を変更し分かりやすい表現を工夫し、今まで記載が不十分だった駐車場や電話転送、アレルギー食についても変更した。

・保護者との連携強化や感染症情報の発信、広報的な役割も果たせるように「つくしだより」を作成した。日頃保護者の方々に伝えたいことをお便りにすることで、つくしをより知ってもらう機会となった。一方で入退室時は慌ただしく手に取ってもらう機会が少なく課題が残った。

・職員が共通の対応を実施できるように「つくしまニュアル」を適時見直した。食物アレルギーの児童や服薬のある児童に対し、マニュアルに沿って対応し、今年度誤食・誤薬の事故はなかった。

また後期食のおやつはつくしで購入し提供するため、提供に際しては保護者への確認などに十分配慮して実施した。

・事故発生時、火災発生時、災害時等の対応を周知し、非常用袋を設置した。非常用袋については定期的に点検をした。

・今年度も連携病院である雲南市立病院の小児科瀬島医師を訪問し、つくしの現状報告と課題について相談し、新型コロナウィルス感染症の児童に対する対策等の指導を受けた。連携を深める意味でも今後も訪問を継続していきたい。

・予約システムについて保護者からの希望が多く、雲南市でも予約システムの導入を検討中だが、予算的なこともあり今年度進展は見られなかった。

・職員のスキルアップを図るため、「発達障害について」の研修に参加した。発達障害児の利用も多いため、具体的な対応方法を示す研修で知識を深めた。

4. 今後の課題と対策

- ・他園等に「つくし」を広く認知してもらうための取り組みを継続する。
- ・利用不可を減らすための取り組みを継続し、他施設との連携を強化する。

- ・保育室の環境を整え人員を確保し、隔離が必要な児童への対応を徹底し二次感染を予防する。
- ・「つくしまニュアル」を充実し、緊急時に備える。
- ・協力医療機関である雲南市立病院との連携体制を強化する。
- ・定期的にアンケートを実施し利用者の満足度やニーズを把握し、課題を改善する。3年毎に実施しを予定し、次回は令和7年度である。
- ・予約システムの導入について検討する。
- ・個別的な病児保育を実践するために職員のスキルアップを図る。

以上

令和5年度だいとう病児・病後児保育室事業報告 資料

①利用月別人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	35	25	46	37	23	29	27	18	33	19	28	31	351
(給食有人数)	31	24	43	36	22	26	27	18	30	19	28	29	333
利用不可人数	2	1	7	12	5	2	0	1	9	3	2	8	52
稼働率[%]	100.0%	70.0%	86.4%	85.0%	60.0%	75.0%	71.4%	70.0%	83.3%	36.8%	63.2%	78.9%	73.5%

月平均
利用者数
29名

②利用不可人数の推移

利用不可人[名]	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	85	76	18	10	3	29	43	52

定員2名

③登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者数	74	9	31	5	1	6	4	7	13	6	6	9	171

④年度毎登録人数・利用人数の推移

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
登録人数	63		71	79	79	149	134	162	156	107	154	172	171		
利用人数		77		160	210	224	273	196	304	258	147	270	347	351	

三刀屋
「たんぽぽ」
開所
病後児
保育室
開設

⑤利用者の病児・病後児の区分

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
病児	16	7	21	16	11	7	11	5	7	5	14	22	14	37.1%
病後児	19	18	25	21	12	22	16	13	26	14	11	19	16	62.9%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
隔離	18	8	15	11	13	15	15	14	22	14	17	12	174	49.6%
隔離不要	17	17	31	26	10	14	12	4	11	5	11	19	177	50.4%

令和5年度 雲南市立大東保育園事業報告

1. 保育理念・保育目標・保育方針

【保育理念】

- 子ども一人一人の育ちを支え、保護者と連携を図りながら信頼関係を深め、地域に愛される保育園をめざす。
- 養護と教育を一体的に行う保育園をめざす。

【保育目標】

『豊かな心をもち、たくましく生活していく子どもの育成』

〈めざす子ども像〉

- 明るく元気な子ども
- 友達を大切にし、思いやりのある子ども
- 自ら考え行動する子ども
- 最後まで根気よく取り組む子ども

【保育方針】

○しなやかで豊かな人間性の育成

0～5歳児までの6年間の成長発達をとらえた保育課程を基に一人一人に即した支援や、直接体験、感動体験を大切にした保育を通して、豊かな心情や思考力の芽生えを培い、心身共にしなやかで自主性のある子どもの育成をめざす。

○たくましい身体の育成

地域の自然環境に親しみ、身体をしっかりと使って遊べる保育を展開していく。生活リズムを整え、たくさん食べて、丈夫な身体を作っていくように保護者と連携していく。また、子ども一人ひとりの育ちに配慮した養育・保育・教育を推進し、日々の生活や活動に充実感がもてるよう努める。

○信頼される保育園

地域の人・もの・こととの出会いの機会を大切にし、保護者、地域の方々の協力を得ながら、いろいろな人とのかかわりや多様な体験を通して、故郷を愛し、しなやかに生き抜く力を持った子どもの育成をめざす。また、地域の中で親しまれる保育園になるよう努める。

【めざす職員像】

『心の根っこを育む職員』

- ・子どもの心情に寄り添い、主体的に生活するための手立てをする。
- ・子ども成長を仲間や保護者と喜び合い、一人一人の子どもの明日を語り合う。

- ・明るく感性豊かに子どもと向き合い主体的に行動する。
- ・色々な機会を捉えて自己研鑽に努め、広い視野と質の高い専門性を備えた自分を創っていく。
- ・保育士・看護師・調理担当者・事務員それぞれが個々の専門性を生かし、協力し、認め合い、信頼し、人間性を高め合う。

2. 園児数

(1) 定員数 135名

(2) 年齢別園児数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
令和5年4月1日	6	21	23	20	23	22	115
令和6年3月31日	18	21	24	20	23	22	128

3. 職員体制(3月末)

職員30名（正職16名）

- ・園長1名
- ・主任保育士1名
- ・副主任3名
- ・保育士16名（内1名育休中10月復帰）
- ・看護師2名（内1名7時間勤務）
- ・栄養士4名
- ・保育補助1名
- ・事務1名

※嘱託医1名 嘱託歯科医1名

4. 健康支援及び安全

(1) 健康支援

☆看護師の専門性を活かした園児の健康増進や安全に対する取り組みを進めた。

- ①欠席状況や感染症発生状況の把握、園児の体調確認、与薬表の確認と与薬、保護者に速やかな情報提供及び健康相談を随時行った。
- ②感染症拡大予防（換気、消毒等）の習慣化に向けた取り組みをした。
- ③個々の成長及び健康管理を行い、保護者と共に理解を図った。
- ④基本的生活習慣の確立のため「元気モリモリ大作戦」を2～5歳児に年3回実施し、親子共、健康に关心を持ち、生活リズムを整えようとする意識を高めるようにした。
- ⑤嘱託医による健診（内科…9月・3月 歯科…6月）を実施した。
- ⑥健康や流行期の病気等の対応や予防、情報提供など、保健便りを随時配信した。
- ⑦職員…毎日の愛耕体操、体力測定とアドバイス、ストレスチェック、研修会等実施した。
- ⑧園児…3～5歳児対象に「看護師さんの話」を実施した。

早寝 早起き朝 ごはん	手洗いについて	ノーメディアについて	熱中症について	歯の大切さについて	目の大切さについて	耳の大切さについて	元気もりもり大作戦について	1年の振り返り

(2) 安全管理

- 事故発生時の対応・防災対策・安全管理等に関するマニュアルを全職員が確認し、危機的状況が発生した場合には、それに沿って素早く体制がとれるようにした。
- 園内外の安全点検・危険箇所の改善・災害発生時の訓練等を行うなど安全対策に努めた。

- ① 災害時想定の避難訓練を消防訓練は毎月、そのほかの訓練は発生時期に合わせて実施し、11月には消防署員による実地訓練も行った。(火災・地震・風水害・雪害)
- ② 交通安全教室を年2回実施し、1回は大東駐在所さんに指導していただいた。また、不審者対応訓練も年2回実施した。
- ③ ヒヤリハットを『お守りシート』に改良し、ヒヤリハットに至る前に対策をしたことで、職員の気づく力と予測する力が身についてきた。
- ④ 環境整備部が主体となり、安全に遊べるよう定期的におもちゃの整理や園庭の整備をした。

○安全衛生部が主体となり、衛生的で安全な環境づくりに努めた。

- ① 園舎内消毒、玩具消毒(毎日)
- ② 安全衛生委員会の指導を踏まえた園舎内の環境整備(主に安全、衛生)
- ③ 安全お守りシートの報告、対策案の提示

(3) 食育の推進

- 食育計画に基づき、地産地消を主とした安心安全な食材を活かし、子供たちの食べる意欲を引き出す彩り豊かな献立の工夫と食事の提供をした。
- アレルギーのある子どもに対しては、完全除去食を提供し保護者と情報交換を密にしながら、栄養士・看護師・保育士が連携して適切な対応をした。また、週1回仲良し給食を取り入れ、“誰もが楽しい食事”の提供を実施した。
- 食育・生活指導部会が主体となり、アレルギー対応マニュアルを作成して職員に対応方法を周知し、机や食器を変えたり食事を出すタイミングを考慮したりして、子どもの口に入るまでの注意を徹底した。
- 栽培活動やクッキング、「食育のつどい」等を通して食への関心を高めた。

- ① 「食育のつどい」…3, 4, 5歳児対象に毎月実施した。

正しい姿勢で食べよう	よく噛んで食べよう	良いウンチを出そう	野菜当てクイズ	お米について知ろう	だしを作ろう	冬野菜を使ってクッキング	畑の大豆腐きなこ作り	振り返りすごろく
------------	-----------	-----------	---------	-----------	--------	--------------	------------	----------

- ② クラスごと、発達に応じた野菜を栽培し、収穫やクッキングをして食への興味を引き出した。
- ③ 給食試食会(一定期間全保護者対象)を実施した。
- ④ 調理室前に『野菜BOX』を設置し、子ども達が自由にいつでも食材に触れる環境を作った。また、日頃から玉ねぎの皮むきをや葉物をちぎったりするお手伝いを通して食材に対する興味関心を引き出していった。(1歳児～5歳児)
- ⑤ 地域の伝統料理や行事食(焼きサバ・笹巻き・焼き芋・餅つき等)を取り入れ、地域の方や祖父母との交流を通して地域の食文化に興味関心を促した。
- ⑥ 名人さんとの交流を通して、子ども達が口にしている食材について興味を持ち、安心安全な食について関心を深めた。(精米、野菜の収穫、干し大根、干し柿・豆腐作り等)

○給食便りの配信、インスタグラムの投稿、壁新聞の掲示など実施し、保護者へ食について啓発した。

○離乳食は5段階に分け、看護師、保育士、保護者と連携しながら個々の発達に応じて進めた。

- 絵本献立やカミカミメニュー、誕生会メニュー等、子どもが食事を楽しみながら心と体の栄養になる献立つくりに努めた。
- ぱくぱく部と連携してぱくぱくミーティングを開き、調理と保育双方からより良い食生活の習慣が身につくよう検討し活かした。

5. 子育て支援

(1) 園開放

○地域の子育て支援として、毎週水曜日を園開放デーとし、希望者には給食を提供した。この機会に子育ての相談や食育相談（離乳食の進め方）等を受けた。また、入園予定の方が園舎内見学も兼ねて利用された。

(2) 一時預かり

○市内の保育園に在籍していない乳幼児を、月12日以内の利用で育児支援を行った。

(3) 延長保育

○仕事等により保育時間内に保育園に迎えに来られない場合、必要に応じて保育園で預かった。

- ・標準時間保育：18：30～19：00
- ・短時間保育：7：30～8：30 16：30～18：30

6. 保護者との連携

○日常の中で（園児の送迎等）保護者に出会う機会を大切にし、笑顔で挨拶したり話しかけたり、子どもの様子を伝えたりした。その際は保護者が安心感を持ち親しみやすい雰囲気づくりを心がけ、信頼関係が構築できるように努めた。また、いろいろな機会を活かし、保育園の経営方針を保護者に伝え、クラス便りの配信や動画配信を実施し、子どもの様子等情報発信に努めた。

○保育公開日を設け、保護者が園内に入って子どもの遊ぶ様子を見たり担任と情報交換したりする機会を設けた。感染症対策には引き続き最大限の配慮をし、保護者がゆったりとストレスなく参加できるよう場所や時間、空間の工夫をしていった。

○親子活動の日を設け、クラスごとで丸子山へ徒歩遠足に行ったり、木次線やバスを利用し、森林公園やゴビウスに遠足に行ったりした。

○クラス懇談会や個人懇談会を各クラス年2回以上設け、保護者さんとじっくり情報交換したり相談を受けたりクラス経営をお伝えしたりした。

○PTA活動は評議員さんを中心に内容を検討し、企画実施した。

- ・こども祭り・・・0～2歳児と3～5歳児に分け、2日間実施した。今年度は4年ぶりに評議員さんも参加して実施できた。
- ・親子運動会・・・3～5歳児は雨天のため大東小学校で実施した。これも評議員さんにスタッフとして参加していただいた。0～2歳児はクラスごとに親子ふれあい活動を実施した。
- ・子育て講演会・・・0, 1歳児は『生活習慣』 2歳児は『愛着関係の形成』
3歳児は『音楽遊びの楽しさ』 4, 5歳児は『足育』についてそれぞれ

子育て講演会を実施した。

・給食試食会・・・各クラス、保育公開日と合わせて給食試食会を実施した。

○アンケートを取り、その結果を踏まえて保護者の要望に対する改善努力をした。

7. 職員の資質向上

○職員の資質向上のため、研修計画に基づく研修の実施及び研修の機会を確保した。状況に応じてWEB研修にも積極的に参加していった。参加した各種研修受講内容は、復命書及びミニ報告会で報告し、全職員の共通理解を図った。

(1) 園外研修

- ①県・市・社協等主催の様々な研修（障がい児教育・指導者研修・マネジメント・スキルアップ・絵本・自然・食育等）に積極的に参加した。
- ②県・市保育研究大会、雲南保協等保育公開と研究討議に参加し研修を深めた。

(2) 園内研修

- ①愛耕福祉社会主催の講師を招いての研修（新人職員研修、人権研修等）
- ②講師を招いての園内研究会
- ③園内エピソード研修

8. 他園・小学校等との連携

○地域の人・もの・こととの出会いを大切にし、園以外の同世代の交流や異世代交流を深め、いろいろな人とのかかわりや多様な経験の機会を設けた。

(1) 他園との交流

- ①大東町内幼稚園・保育所（園）・こども園との交流
- ②かもめ保育園・みなみかも保育園との交流

(2) 小学校との連携

- ①大東・佐世・西・小学校区の園児と該当の小学校との交流
- ②各小学校より5歳児クラス見学に来園され、自園の職員も小学校の授業見学に行く等、職員間の交流を実施した。
- ③小学校と自園の職員合同で接続期の研修会を実施した。

(3) 中学生との交流

- ①夢発見ウイーク（職場体験）
- ②手作りおもちゃ・ふれあい活動（家庭科の授業の一環）

(4) 高校生との交流

- ①ふれあい活動（大東高校家庭科の授業の一環として）

②大東高校探求アワードを通しての交流

(5) 大東中学校区保・幼・こ・小・中学校の一貫教育の推進

○大東中学校区の保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校・地域が「心豊かでたくましく生きる力を持った子どもの育成」のために連絡協議会や研修会を設け、参加した。

①大東中学校のテスト期間に実施されるメディアコントロールウイークの取り組みに合わせ、減メディアや早寝早起き朝ご飯等の生活リズムの意識づけのため『元気モリモリ大作戦』週間を実施した。

②来年度より海潮中学校が統合されるにあたり、組織の再編と「交流部」「夢プロ部」「研修部」の区分け見直しに向けて協議した。

9. 祖父母、地域との連携

○地域に根付いている伝統文化の継承、祖父母や地域の皆さんとの交流や支援を得て地域に根付いた活動を推進した。

- ・祖父母との芋苗植えと芋ほり、焼き芋大会
- ・食生活改善推進委員さんとの笹巻作り
- ・藤原鮮魚店さんとの焼きサバ交流
- ・大東農産加工場さんとの餅つき大会
- ・グリーンパワーうんなんさんの木育活動
- ・畑の名人山本さんとの野菜収穫
- ・小山豆腐屋さんと豆腐作り等を実施した。

○大東七夕保存会さんより、大東七夕祭りの由来を聞き、スイカ提灯作りの指導を受けた。また、地域の方や保護者の協力を得て3～5歳児が神輿やスイカ提灯、七夕飾りを持って町内を歩いた。合わせて、尾原ダムより笹を寄贈していただき、祭りに活用した。

③大東よいとこ祭りに参加（4、5歳児）した。

④加多神社節分祭への参加（5歳児）は、今年度は土曜日だったため、希望親子のみ個別で参加された。

10. 保育に関する評価

(1) 園評価

○園の取り組みや評価項目を明確にし、職員の自己評価と保護者のアンケート結果から評価を行った。

(2) 自己評価

①キャリアパスの評価項目に基づいて年2回自己評価を実施する。また、自己評価を踏まえ園長による面談を行い、頑張ったことや今後への目標等明らかにする。

以上

令和5年度 雲南省立大東保育園 園児数の推移（月末時点）

資料 No. 1

月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
4	6	21	23	20	23	22	115
5	6	21	23	20	23	22	115
6	7	21	23	20	23	22	116
7	7	21	23	20	23	22	116
8	7	21	23	20	23	22	116
9	11	21	23	20	23	22	120
10	13	21	24	20	23	22	123
11	16	21	24	20	23	22	126
12	17	21	24	20	23	22	127
1	18	21	24	20	23	22	128
2	18	21	24	20	23	22	128
3	18	21	24	20	23	22	128

延長保育利用状況 () は前年度

月	登録者	利用延べ人数
4	19(15)	8(27)
5	21(17)	8(15)
6	26(19)	4(12)
7	30(20)	13(18)
8	31(22)	11(10)
9	34(23)	16(44)
10	34(24)	25(32)
11	42(27)	34(26)
12	42(32)	29(27)
1	48(32)	51(8)
2	50(34)	19(10)
3	51(34)	25(7)
合計	428(299)	243(236)]

一時預かり保育利用状況 () は前年度

月	利用日数	利用延べ人数
4	0(0)	0(0)
5	2(1)	2(1)
6	5(0)	5(0)
7	7(0)	7(0)
8	8(0)	8(0)
9	7(0)	7(0)
10	6(1)	6(1)
11	10(2)	10(2)
12	5(3)	5(3)
1	9(1)	9(1)
2	6(0)	6(0)
3	12(0)	12(0)
合計	77(8)	77(8)

土曜保育利用状況 () は前年度

月	利用延べ人数
4	54(79)
5	42(83)
6	59(60)
7	67(50)
8	55(69)
9	46(83)
10	53(87)
11	54(77)
12	31(62)
1	46(67)
2	36(56)
3	60(72)
合計	576(845)

令和5年度 職員研修参加表

資料 No.2

雲南省子ども政策局		雲南省保育協議会	島根県・厚生労働省	社会福祉協議会	園内研修
人権研修	1名	実技研修・足育	2名	発達障害基礎講座	1名 保育士キャリアアップ研修 【障がい児保育】 1名 期索勉強会 4名
夢発見プログラム	2名	療育を語る会	1名	新任職員研修会	1名 保育士キャリアアップ研修 【保健衛生】 1名 期索勉強会 8名
音楽遊び研修	1名	絵画実技研修	2名	両立支援研修	1名 保育士キャリアアップ研修 【乳児保育】 1名 かもめ園内研修 1名
管理職研修「不適切保育」	1名	保育士部会研修『アナログで遊ぼう』	1名	就学前研修	1名 保育士キャリアアップ研修 【食育・アルギー】 1名 救命救急法 28名
Aプロック研修・寺領	1名	保育士部会研修『絵画』	2名	女性きらめき応援塾	1名 保育士キャリアアップ研修 【保護者支援】 1名 2歳児園内研修 4名
Aプロック研修・吉田	1名	公開保育(加茂こ)	1名	感染症研修	2名 保育士キャリアアップ研修 【幼児教育】 1名 かもめ園内研修 1名
不適切保育研修	1名	県大会	3名	食育研修	2名 保育士キャリアアップ研修 【マネジメント】 2名 3歳児Aプロック研修 3名
人権研修	28名	保健を語る会	2名	健康経営セミナー	2名 保育士キャリアアップ研修 【保健実践】 1名 みなみかも園内研修 1名
幼小接続期研修	1名	調理担当者研修	1名	新任職員フォローアップ研修	2名 保育者研修会 1名 接続期研修 全職員
人権同和研修	1名	実技研修・音楽遊び	1名	主任・主幹保育士研修	1名 施設長研修 1名 野津T勉強会 8名
Aプロック研修・掛合	1名			県幼研雲南大会	2名 主任保育士研修 1名 かもめ園内研修 1名
特別支援研修	1名			島根教育の日フォーラム	1名
学校運営協議会全体研修	1名			発達障害支援研修	2名
愛着形成研修	2名	その他			社会福祉法人愛福祉会
Aプロック研修・三刀屋	2名	コドモン研修	1名	絵画研修	1名 同友会新入社員研修 2名 水の事故防止研修 10名
人権研修	28名	愛着研修	4名	職場の健康管理	2名 かもめ保育園4歳児 1名 ポリテク研修 (DX) 3名
音楽遊び研修	1名	学校運営協議会研修	1名		法人人権研修 29名 ポリテク研修 (SDGA) 3名 ポリテク研修 (SDGsB) 4名 がん検診啓発研修 28名
運動遊び研修	1名	防火管理者講習	1名		同友会フォローアップ 研修 2名
接続期研修	1名	学校給食会研修	1名		
Aプロック研修(大東)	5名	両立支援研修	1名		ハラスマント研修 2名

令和5年度 雲南市立大東保育園 年間行事

月	園行事	PTA行事	月	園行事	PTA行事
4月	入園のつどい よもぎ団子作り	PTA評議員会		焼き芋・収穫祭(祖父母・地域交流) 元気モリモリ大作戦② グリーンパワーうんなん交流(めろん、ばなな組) 消防車乗車・放水体験 大東中2年生保育体験 野菜農家さんとの交流(めろん組) ヤクルトさん健康指導(みかん～めろん組) わくわくうんなんピック(3, 4, 5歳児)	
5月	検尿(3, 4, 5歳児) 焼きサバ大会 めろん組クラス懇談会 交通安全教室 芋苗植え(祖父母交流)		11月		ぶどう組触れ合い遊び・給食試食会 ばなな組親子活動・給食試食会 みかん組親子活動
6月	元気モリモリ大作戦① 歯科健診 ばなな組個人面談 笹巻作り	PTA評議員会 めろん組給食試食会 みかん組給食試食会	12月	クリスマス会 めろん組個人面談 佐世幼稚園訪問(めろん組)	さくらんぼ組触れ合い遊び・給食試食会
7月	プール開き みかん組個人面談 B&Gプール体験(3, 4, 5歳児) さくらんぼ～ぶどう組懇談会	PTA評議員会 環境整備作業 いちご組講演会 みかん～めろん組こども祭り	1月	餅つき めろん組干し大根づくり	
8月	七夕行列 ぶどう組個人面談 盆希望保育(13日～15日) B&Gプール体験(3, 4, 5歳児)	さくらんぼ～ぶどう組こども祭り	2月	豆まきのつどい 元気モリモリ大作戦③ さくらんぼ～ぶどう組懇談会 生活発表会(3・4・5歳児) めろん組豆腐作り	さくらんぼ組講演会 いちご組懇談会 みかん、ばなな組親子遠足
9月	交通安全教室 米農家さん新米交流 B&Gプール体験(3, 4, 5歳児) 3園5歳児交流 大東高校3年生との交流	PTA評議員会 ぶどう組講演会	3月	お別れ遠足 ひな祭り会 お別れ会 入園前説明会 内科健診 修了証書授与式 年度末希望保育	PTA監査会 環境整備作業 PTA評議員会・慰労会 めろん組、ばなな組講演会
10月	めろん組親子遠足 ばなな、めろん組よいとこ祭り出演 めろん組干し柿作り 佐世幼稚園との交流会 芋ほり(祖父母交流)	PTA評議員会 環境整備作業 いちご組触れ合い遊び・給食試食会 みかん～めろん組親子運動会	毎日	一時預かり保育 延長保育	
			毎月	誕生会 発育測定 弁当の日 安全点検 避難訓練 看護師さんの話 食育活動 保育園開放日(毎週)水曜日	

令和5年度 雲南市ファミリーサポートセンター（大東本部）事業報告

1. 会員数（令和5年4月～令和6年3月まで）退会処理前の人数 ※掛合支部は、市が把握している

	大東	木次	加茂	合計	前年度比
援助会員	28	30	25	83	+2
両方会員	12	19	6	37	+3
依頼会員	71	179	53	303	+36
合計	111	228	84	423	+41
前年度比	+9	+28	+4	+41	

※ 大東・木次・加茂に分けてあるのは、どこが入会時の窓口（本部・支部）になったのかを明示するためであり、地区別の人数ではない。

2. 援助依頼の内容と利用件数（令和5年4月～令和6年3月まで） ※件数＝援助を行った会員の人数

送迎	依頼内容	大東	木次	加茂	合計
	自宅から保育園へ、又は保育園から自宅への送り	8	74	4	82
保育園や放課後児童くらぶから習い事への送り		74	0	1	67
療育施設への送迎		84	44	0	119
スポーツへの送り		0	0	31	31
送迎件数合計		166	118	36	320
預かり	依頼内容	大東	木次	加茂	合計
	就労や就活のための預かり	3	21	7	31
	通院や体調不良などのための預かり	0	56	11	67
	買い物等、家事や用事のための預かり	0	27	0	27
	リフレッシュ・休養のための預かり	0	48	10	58
	きょうだいの予防接種や病院受診のための預かり	0	1	0	1
	きょうだいの園や学校行事参加のための預かり	0	34	8	42
	会議や研修等のための預かり	0	3	0	3
	※ 送迎と預かり（仕事等のため）	0	1	2	3
	預かり件数合計（送迎と預かりを含む）	3	191	38	232
地区別利用件数合計		169	309	74	552
利用件数総合計		552件			

3. 実利用人数（月ごとの新たな利用会員数を記）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大東	4	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6
木次	8	11	6	2	1	1	1	1	2	1	2	0	36
加茂	2	0	1	1	0	1	1	2	0	2	1	1	12
合計	14	11	8	4	1	2	2	3	2	3	3	1	54

4. 地区別の利用率と援助を提供する会員の実動率（3月まで）

	依頼会員数	実利用人数	利用率	援助会員数	実動会員数	実動率
大東	71	6	8	28	4	14%
木次	179	36	20	30	16	53%
加茂	53	12	22	25	7	28%
合計	303	54	18	83	27	33

5. 預かりの場所別、利用件数（3月まで）

預かりを行った場所	平日	土	日	祝	合計
木次子育て支援センター（木次支部）	134	56			190
加茂子育て支援センター（加茂支部）	15	5			20
援助会員の自宅	1	2	8	2	13
依頼会員の自宅	5	なし	なし	なし	5
放課後児童クラブ（終了後のクラブの場）	3	なし			3
送迎と預かり（援助会員自宅）	なし	1	なし	1	2
送迎と預かり（依頼会員自宅）	1	なし	なし	なし	1

6. 預かりにおける、年齢別利用子どもの人数・利用件数・利用時間（3月まで）

	年間利用総人数	利用件数	利用総時間
0歳	82	137	341
1歳	12	14	44.5
2歳	9	10	27
3歳	3	5	17
4歳	11	16	25
5歳	14	47	198.5
6歳	3	3	1.5
合計	134人	232件	654.5時間

7. 預かり平均時間（3月まで）

預かり時間合計 = 654.5 時間

預かり利用件数合計 = 232 件
(一人の子どもが複数回の利用あり)

預かりの平均時間 = 2.82 時間

8. 令和5年度 講習会・交流会

○ 緊急救命講習会

(援助会員養成講習を兼ねる)

日時：令和5年5月30日（火）

9:15～10:40

場所：斐伊交流センター多目的ホール

対象：実動援助会員・新規援助会員

講師：雲南消防本部 救急救命士

参加者総数：9名

○ 事故防止講習会

(援助会員養成講習を兼ねる)

日時：令和5年7月18日（火）

9:30～11:30

場所：斐伊交流センター会議室

対象：実動援助会員・新規援助会員

講師：ファミサポスタッフ

参加者：10名

○ 援助会員養成講習会 ①

日時：令和5年5月23日（火）

9:30～11:00

場所：斐伊交流センタープレイルーム

対象：実動援助会員

講師：長澤幸子さん（すワンセンター長）

参加者：10名

【感想】

- ・困っていることを直接自分の言葉で相談でき聞いてもらえたことで安心した。
- ・先生のアドバイスを参考にして、前向きなかわり方ができそうと思った。

○ 援助会員養成講習会 ②

日時：令和5年6月21日（水）

9:30～11:00

場所：斐伊交流センタープレイルーム

対象：実動援助会員・新規援助会員

講師：雲南市役所

助産師・保健師・管理栄養士

参加者：10名

【内容】

1. 心肺蘇生法の講義と実習
2. AED の使用方法について
3. 気道異物の除去法について
4. 質疑応答

【感想】

- ・いざとなったら行動できるか自信はないが、きっとポイントが甦ると思う。受講して良かった。
- ・とても丁寧に教えてもらい良かった。自分が心配していたことが聞けて安心した。心肺蘇生法の実習は力の入れ方が難しい。体力が必要。

【内容】・・

「事故やヒヤリハット事例の背景要因分析と対策立案、グループワーク」

1. 事例の通読→なぜなぜ分析の仕方についての説明
2. 分析の5つの視点について具体例の通読→グループでの話し合い
3. 「なぜ起こったか」についての分析、シートに記入
4. 対策ができそうなものを選んで検討→グループごとに発表

【感想】

- ・みなさんの意見聞くことができ、自分でも気づきがあり、とてもためになる良い研修だった
- ・実際にあった事例を知ることができ、対策も話し合えて良かった
- ・皆さんのがいろいろな視点から話されたので勉強になった

【内容】・・

「配慮をする子どもとのかかわり方」（講義と相談）

1. 発達障がい（発達症）の特性について
2. 理解と支援について
3. 今回の研修で考えたいこと
 - ・子どもとのかかわりで大切にしたいこと
 - ・配慮をする子どもとのかかわり方
 - ・「ほめる」と「しかる」のコツ
 - ・配慮をする子どもの保護者とのかかわり方
 - ・質疑応答

【内容】・・

「赤ちゃんとのかかわり方（講義と実技）」

1. 赤ちゃんの発達とかかわり方のポイント
(生後3か月前後～1歳6か月まで)
2. 人形を使っての実技
首が座るまでの赤ちゃんの抱っこ、オムツの替え方、洋服の着せ方、ミルクの飲ませ方、排気の仕方、背中スイッチ対処法
3. 水分補給や離乳食について
4. 質疑応答

【感想】

- ・赤ちゃんの人形を使って実習ができ、とても良かった
- ・新しい情報がいろいろ聞けて参考になった

○ 情報交換会&お楽しみ会
日時：令和5年12月12日（火）
9:30～11:00
場所：斐伊交流センター多目的ホール
対象：実動援助会員
情報交換会：アドバイザー進行
お楽しみ会講師：梅 愛理さん
参加者：11名

「情報交換会」

【内容】・・

1. 「サポート中の緊急対応フローチャート」の説明（配布）
2. 「ヒヤリハット事例」の紹介と対策について
3. 援助活動を行う上での会員の困り感への対応と関係機関との連携について
4. 援助活動をしての感想、意見など（会員より）

【感想】

- ・ヒヤリ・ハットの話は身がしまる思いがする。気をつけたい。
- ・みなさん、いろいろな点に気を付けて真剣に取り組んでおられ、サポートするにあたっての工夫などが聞けて良かった。
- ・「サポート中の緊急対応フローチャート」は、何かあった時には動搖すると思うので、手元にあると安心。いいものだと思う。

「お楽しみ会」・・「ドライフラワー製作ワークショップ」

【内容】・・ガーランド、スワッグの作り方講習と作品作り

【感想】・・初めての経験で、とても楽しかった。

素敵なものを作らせてもらって嬉しかった。

○ スタッフ研修会
日時：令和5年4月18日（火）
9:30～10:30
場所：斐伊交流センタープレイルーム
対象：ファミサポスタッフ
講師：長澤幸子さん（すワンセンター長）
参加者：6名

【内容】・・

「配慮をする子どもや保護者とのかかわり方」

～相談会～

1. 「配慮をする子どもとのかかわり方」についての講義
2. 保護者とのかかわり方で注意をする点について
3. 現在困っていることについての相談

【感想】

- ・保護者と話す時にどのようなことに注意をすれば良いのかを教えていただき、とても参考になった・
- ・困ったり迷ったりしていることを聞いてもらえたことで気持ちが楽になった。

9. 援助活動（送迎・預かり）の実態

《送迎》

- ・7件の送迎依頼を受けているが、今年度は、子どもに対してどのようにかかわったら良いのか多くの困り感（安全な援助にかかわること）が援助会員さんから出た。さくら教室送迎時の困り感に対しては特に援助会員さんから詳しく話を聞いて丁寧に対応した。さくら教室送迎児については、相談支援事業所が絡んでいるため、”サービス担当者会議”に出席してさくら教室や子どもが所属している保育所に送迎時の様子を話して配慮のお願いをしたり、さくら教室と連携を取り、さくら教室でできる対応を検討してもらったり、援助会員さんに特性についての話しをして理解していただいたりなどしてきた。それによって、援助会員さんの困り感が減った。特性についても理解していただき、温かく接してくださっているので、いつも感謝の気持ちをお伝えしている。
- ・難しいケースの送迎依頼もあった。関連機関と相談の上でお断りをしたケース、面談をして援助会員のマッチングを始めたが依頼者側の都合で保留（今後あるかもしれない）になったケース等がある。

- ・依頼子どもの保護者対応で配慮が必要なケースがあり、送迎開始後に保健師さんに入つてもらって面談をし直した。2回の面談を経て保護者との関係が良好になった。丁寧な対応と関連機関との連携は欠かせないものとなってきている。
- ・送迎依頼は増えているが、送迎を受けてくださる会員さんが少ないため、近い距離の人をマッチングすることが困難な状況である。(援助会員さんは一人でなく複数での援助を希望されることが多い)

《預かり》

- ・木次子育て支援センターの場での預かりが多い。これは、木次子育て支援センター利用者が多く、センターでのファミサポ預かりの様子を利用者が見ていて自分も利用したいと思われるケースが多いこと、センターで預かりをする援助会員さんがセンターで代替えとして時々勤務していて、センターに慣れていることと、センター利用者や子どもと顔なじみになっていることで利用者が安心して預けられること、長年の経験がある方が多く依頼会員に信頼されていることなどが理由として挙げられる。また、支援センターの場でなら預かりの活動をしたいという申し出があり、実動できる援助会員が数名増えた。
- ・母子コーディネーターさんが預かり依頼を紹介されるケースもあった。対応できる援助会員さんがおられて受けることができたが、今後、専門性の高い援助会員さんの獲得が必要と思われるので、積極的な声掛けをしていくことが大切になる。
- ・配慮を要する子どもの預かり(依頼会員宅での預かり)で、「母親の子どもに対してのマイナスな言葉にどのように返事をしたら良いのか分からず困った」というケースがあった。

《全体として》

- ・援助会員さんの安全な援助活動に対する意識が高まってきて、講習会へもできるだけ都合をつけて参加してくださった。
- ・送迎時にちょっとした「ヒヤリ・ハット」があったと援助会員さんから報告を受けている。小さなことでも報告をしていただき、それを「ヒヤリ・ハット報告書」に記入し、対応策の検討や周知を行った。
- ・自宅預かりの場合において、依頼会員さんが自分の都合で子どもの預かりの引き渡し場所を自宅以外に指定されるケースがあり、雲南市ファミリーサポートセンターとして認めるかどうかの判断を検討したことがあった。センターとしては、安全面を考慮して、雲南市ファミリーサポートセンターとしての原則をその都度話し合い決定していくことが必要になってきている。
- ・支援センターの場での預かりのマッチングは各支部にお願いをするが、送迎に関する全ての対応は大東本部対応とする。

10. 令和5年度に検討や改善した事項について

○ 令和5年4月から、活動時間の算出方法の統一を実施

援助活動における活動報酬金額は、「援助会員が自宅を出てから、活動を終了し、自宅に着くまでの時間にかかった料金」と統一することになり、その時間と金額を必ず援助を提供した会員が「援助活動報告書」に記入して依頼会員に請求することになった。(送迎・預かりともに)

基本料金については、全国的にみると30分当たりの料金を値上げしている自治体もあるが、雲南市は今のところ変わりなし。

○ 令和5年10月から、送迎活動にかかる実費（ガソリン代）の支払いの実施

「援助会員が自宅を出て、依頼のあった送迎を行い、自宅に着くまでの移動距離」に対して、1km当たり24円の実費（ガソリン代）を依頼会員が支払うことになった。距離については、援助会員が自己申告する。物価高騰の折、援助会員からは喜ばれ、依頼会員からのクレームもなかった。

○ 緊急対応フローチャート（職員用）の作成・・本部、支部、子ども政策課に置く

- ・送迎と預かりそれぞれに「緊急を要する場合」「緊急を要しない場合」の本部担当者の動き、子ども政策課担当者の動き（支援センターの場での預かりについては、支部の動き）を検討し、決定したことを見ローチャートにして共有した。今後、事故等があれば、それに基づいて動くこととなった。
- ・事故対応は、本部アドバイザーが子ども政策課の担当と連絡を取り合って行うが、事故の連絡は、大東本部に入るようになっているため、アドバイザーが休み等すぐに動けない時の最初の電話対応（指示や連絡）については、保育園内で代わりの人ができるような体制を取って欲しいと、子ども政策課からお願いをされている。代わりに誰がするのかは、まだ決まっていない。

緊急対応フローチャート（援助会員）の作成・・実動援助会員に配布済み。

- 「相互援助の手引き ありがとうの輪（職員用）」の作成
 - ・「ありがとうの輪」に、改定した事柄や経過、新たに作成した物などについて詳しく加筆したものを作成し、職員（スタッフ）用とした。
- 「実動援助会員カルテ」の作成・・
 - ・本部、各支部ともに実動できる援助会員の情報を共有し、どこからでも依頼できるようにした。
 - ・援助会員の援助できる内容が変われば、その都度、情報共有し書き換えておく。
- 病後児預かりについての検討
 - ・「病後児預かり依頼票」「お薬依頼票」の作成。
病後児預かりについて、雲南市としての原則を検討し決定した。緊急対応が必要な場合には相談に応じるが、原則に基づいた上で受けてくださる援助会員さんが見つかれば預かることになった。
- 「ヒヤリ・ハット事例」の聞き取りについて実施
 - ・援助会員から報告があったことを本部にて記述しておき、情報交換会にて周知をする。
- 援助依頼について、ケースごとに対応の検討・・
 - ・0歳児の預かり開始月齢の検討や依頼会員宅へ行っての援助活動の検討などを行った。
- 相談事業所との関係についての検討
 - ・さくら教室送迎については、”相談支援事業所”が保護者にファミリーサポートセンターで送迎利用ができるなどを紹介されるため、保護者がファミサポ送迎を利用したい場合、相談事業所から話しが来る。しかし、相談事業所からの子どもの情報は不十分であり、援助会員をマッチングする時に困ったり、保護者が相談事業所に任せる傾向があるため、依頼会員（保護者）との連携において困ることもあった。そこで、子ども政策課の担当と相談の上、入会・依頼に関しては保護者にファミリーサポートセンターに来てもらい、子どもの特性についても保護者に直接話してもらうようにした。その件については、子ども政策課ファミサポ担当から、相談事業所にもお願いしてもらった。
- いろいろなことを改善して行ったことで、市が雲南市ファミリーサポートセンターの要項の整理・見直しをしてくださった。

11. 今後の課題

- ①「ひとり親家庭半額補助（上限あり）」について
 - ②「非課税世帯全額補助（上限あり）」について
 - ③「きょうだい預かり 2人目以降半額補助（一人の援助会員が二人以上の子どもの預かりをした場合、2人目以降半額分について市が補助する）」について
いずれも子ども政策課に何度もお願いしているが、今後も検討していくことである。必要なデータを示しながら、引き続きお願いをしていくことが必要と思われる。
- ①、②については、県内のほとんどの市のファミリーサポートセンターが取り組んでいる。

以上

令和5年度 みなみかも保育園 事業報告

1 保育理念・保育目標・保育方針

【保育理念】

- 子どもも一人一人の育ちを支え、保護者と連携を図りながら信頼関係を深め、地域に愛される保育園をめざす。
- 養護と教育を一体的に行う保育園をめざす。

【保育目標】

『豊かな心をもち、たくましく生活していく子どもの育成』

【めざす子ども像】 ※ () 内は加茂町学校運営協議会がめざす子ども像

- 明るく元気な子ども (あいさつ)
- 友達を大切にし、思いやりのある子ども (ふるまい)
- ふるさとを愛する子ども (地域への愛着)
- 自ら考え行動し、最後まであきらめない子ども (主体的な学び)

【保育方針】

* しなやかで豊かな人間性の育成

0～5歳児までの6年間の成長発達をとらえた全体的な計画を基に、一人一人に即した支援や直接体験、感動体験を大切にした保育を通して、豊かな心情や思考力の芽生えを培い、心身共にしなやかで自主性のある子どもの育成をめざす。

*たくましい身体の育成

地域の自然環境に親しみ、身体をしっかりと使って遊べる保育を展開していく。生活リズムを整え、たくさん食べて、丈夫な身体を作っていくように保護者と連携していく。また、子ども一人一人の育ちに配慮した養育・保育・教育を推進し、日々の生活や活動に充実感がもてるよう努める。

*ふるさと（地域・自然）を愛する心の育成

地域の人・もの・こととの出会いの機会を大切にし、保護者、地域の方々の協力を得ながら、いろいろな人とのかかわりや多様な体験をして、故郷を愛し、しなやかに生き抜く力をもった子どもの育成をめざす。また、地域の中で親しまれる保育園になるよう努める。

2 園児数

(1) 定員数 60名

(2) 年齢別園児数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
令和5年4月1日	1	12	9	12	10	13	57
令和6年3月31日	9	12	9	12	10	13	65

3 職員体制

職員 19名（正職 10名）

- | | | | |
|---------|---------|----------|----------|
| ・園長 | ・主任保育士 | ・保育士 12名 | ・保育補助 1名 |
| ・看護師 1名 | ・栄養士 2名 | ・事務員 1名 | |
| ＊嘱託医 1名 | | 嘱託歯科医 1名 | |

4 健康支援と安全

（1） 健康支援

★看護師の専門性を活かした園児及び職員の健康管理や安全、衛生管理を行った。

★感染予防のための衛生管理を徹底した。

- ・園児への保健指導（「かんごしさんの話」…3、4、5歳児対象）を行った。
- ・個々の成長及び健康管理、欠席状況把握した。
- ・保護者への啓発（保健便りの発行・流行期の感染症発生状況の情報提供・健康相談）を行った。
- ・基本的生活習慣の確立に向けた支援（生活リズムについて家庭と連携する…年3回「元気モリモリ大作戦」 1～5歳児対象）
- ・嘱託医による健診（内科…年2回、歯科…1回）

（2） 安全管理

★事故発生時の対応、防災対策、安全管理等に関するマニュアルを全職員が確認し危機的状況が発生した場合には、それに沿って素早く体制がとれるようにした。

★園舎内外の安全点検、危険箇所の改善、災害発生時の訓練等を行うなど安全対策に努めた。

- ・災害時想定（不審者対応含む）の避難訓練の実施（毎月）…雲南消防署、雲南警察署からの指導を受けた。
- ・交通安全教室…4月、9月に加茂駐在所より来ていただき指導を受けた。
- ・安全点検（毎月）を実施し、修繕箇所に対応した。
- ・ヒヤリハット、事故報告書による安全対策の重視と共通理解を図った。

（3） 食育の推進

★地産地消を積極的に取り入れ、安心安全な食材を使った献立の工夫と食事の提供を行った。また、保育士と連携しながら、園の畑で収穫した野菜を取り入れたり野菜の皮むきなどのお手伝いをしたりして子どもたちに「食材」に関心をもたせた。

★アレルギーのある子どもに対しては、保護者と連携して一人一人の状態に合わせた除去食の提供と栄養士・看護師・保育士が連携して適切な対応を行った。

★園生活の中で「食」への興味関心が高まるように工夫した。また、より良い食生活の習慣が身につくように年間食育計画を作成し、日々の食事や行事食に活かした。

- ・食育のつどい…もぐもぐタイムとして子どもたちに関心をもたせ、食育活動行った。
- ・調理担当者と保育士の連携をとり、栽培物のクッキングを行った。
- ・食文化の継承（よもぎ団子、笹巻き、焼き芋、餅つきなど）を実施し興味関心を促した。
- ・郷土料理、絵本献立、なかよし給食（アレルギー食品を使用しない）子どもからのリクエスト献立、また、保護者からのレシピを募集して、献立に活かした。

- ・食育部会を開き、調理と保育の立場から子どもたちへの「食」について検討し、保育や食育に活かした。
- ・給食献立、食育だより、ホームページ、インスタグラム、給食の玄関展示などで保護者へ食について啓発したりレシピなどを発信したりした。

5 子育て支援

(1) 園開放

★毎日園開放を行い、地域の子育て支援として「開かれた保育園」「信頼できる保育園」となるよう努めた。入園を検討される方やすでに入園が決まっている方が利用された。希望者には給食を提供し、子育て相談、食育相談などを受けた。

(2) 一時預かり保育

★市内外の保育園に在籍していない乳幼児を、保護者の希望に添いながら基本毎日利用できるようにして育児支援を行った。里帰り出産で預ける方が増えた。

★子育て支援センターにもパンフレットを持っていき、情報発信をした。

(3) 延長保育

★仕事等の都合により保育時間以外で需要がある場合は、必要に応じて保育園で子どもを預かった。(朝7：00～7：30、夕18：30～19：30)

6 保護者と連携

★送迎時や連絡帳などを利用し、園での様子を伝えたり、保護者の思いや悩みに共感したりした。また、笑顔で挨拶したり声掛けしたりするように心がけた。

★フリー公開として保育公開日を設け、子どもたちの様子を見てもらったり給食を提供したりした。

★園便り・園長便り(みなみかもっこだより)・クラス便り・保健便り・食育便り・献立表、ホームページ配信、動画配信、Instagramなど、各自の専門性を活かした情報の発信に努めた。

★PTA活動は評議員さんを中心に内容を検討し活動をすすめていった。人数制限なしですべての活動が実施できた。

★年度末に加茂町学校運営協議会と連携した園運営についてのアンケートをとり、その結果を踏まえ要望や意見に対する改善努力を図った。

7 職員の資質向上

★研修計画に基づき、職員の研修の機会を確保した。研修後は、復命書及び報告会により、他の職員に伝え共通理解を図り、同じ意識をもって保育に取り組めるようにした。

★各クラス園内研究会を行い、自分の保育を多面的に捉え保育の資質を高めていった。

★自主研修参加を認め、主体的に学ぼうとする職員の意欲を高めていった。

8 他園・小学校等との連携

○人・もの・こととの出会いを大切にし、園以外の同世代の交流や異世代交流を深め、いろいろな人とのかかわりや多様な経験をする機会を設けた。

(1) 他園との交流

★愛耕福祉社会の保育園との交流会

(2) 小学校との連携

★加茂小学生との交流

夏休み期間に加茂小学校より5歳児の様子を見学、保育体験として数日間、入れ替わりで来られ交流した。

★他町の園児の該当地区の小学校と連携をとった。

(3) 中学生との交流

★夢発見ウィーク（職場体験）・夢発見ボランティアを通して交流した。

9 地域との連携

○地域の伝統文化の継承、地域の方との交流活動を推進した。

★柿&芋同好会さんと交流した。（芋苗植え、芋ほり、焼き芋、柿とり、干し柿づくり、コスモス祭り）

★南加茂農事組合法人さんと交流した。（田植え体験、稲刈り体験）

★笹巻づくりを行い、地域の方と交流した。

★新春のつどいを通して、地元の南加茂貴船神楽社中さんの神楽に親しんだ。

★餅つきの行事を通して、地域の方と交流した。

★地域のお祭りに参加し、4・5歳児が歌を歌ったり踊りを披露したりした。

★高齢者のつどいに参加し、親しんだ。

10 保育に関する評価

(1) 園評価

★園の保育目標から取り組み内容をクラス毎に評価し、保護者アンケート結果と合わせて園全体の評価を行った。（加茂町学校運営協議会の目標に合わせて評価）

(2) 自己評価

★目標管理・評価シートにより園長との面談を経て、各自今後の目標等を明らかにしていた。年2回自己評価を実施し、更なるスキルアップに活かせるようにした。

令和5年度 みなみかも保育園 園児数の推移（月末時点）

月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4	1	12	9	12	10	13	57
5	1	12	9	12	10	13	57
6	3	12	9	12	10	13	59
7	4	12	10	12	10	13	61
8	4	12	9	12	10	13	60
9	6	12	9	12	10	13	62
10	6	12	9	12	10	13	62
11	6	12	9	12	10	13	62
12	6	12	9	12	10	13	62
1	6	12	9	12	10	13	62
2	7	12	9	12	10	13	63
3	9	12	9	12	10	13	65

※ 8/31 1名退園

令和5年度 みなみかも保育園 利用状況

一時保育利用状況		
月	利用日数	利用延べ人 数
4	18	40
5	17	38
6	11	16
7	12	17
8	12	20
9	14	26
10	16	28
11	13	28
12	16	30
1	11	20
2	16	28
3	17	32
合計	496	323

延長保育利用状況		
月	利用日数	利用延べ人 数
4	3	3
5	5	6
6	8	9
7	15	21
8	13	16
9	14	16
10	5	5
11	10	14
12	12	14
1	17	23
2	14	15
3	6	10
合計	122	152

開放デー参加状況		
月	利用者数	給食試食数
4	1	1
5	0	0
6	0	1
7	1	1
8	0	0
9	3	2
10	0	0
11	1	0
12	1	1
1	0	0
2	1	1
3	1	1
合計	9	8

土曜保育出席状況	
月	出席園児数
4	23
5	31
6	26
7	26
8	16
9	27
10	18
11	29
12	25
1	24
2	31
3	32
合計	308

講演会題名	開催日	開催場所	主な内容	登壇者数		聴取者数	評議会の実施状況	評議会の実施状況
				登壇者	司会者			
第1回 幼稚園・保育所・認定こども園職員研修会 登壇見聞プログラムについて	2023年1月15日	島根県立総合教育センター	認定こども園職員研修会による登壇見聞プログラムについての発表と意見交換	1名	1名	1名	実施	実施
第2回 幼稚園・保育所・認定こども園職員研修会～音楽遊び	2023年2月15日	島根県立総合教育センター	音楽遊びを通じた認定こども園職員研修会の実践事例発表と意見交換	1名	1名	1名	実施	実施
第3回 幼稚園・保育所・認定こども園職員研修会～不適切保育について	2023年3月15日	島根県立総合教育センター	不適切保育についての認識と改善策についての議論	1名	1名	1名	実施	実施
第4回 幼稚園・保育所・認定こども園職員研修会～特別支援教育について	2023年4月15日	島根県立総合教育センター	特別支援教育についての実践事例発表と意見交換	2名	2名	2名	実施	実施
第5回 幼稚園・保育所・認定こども園職員研修会～性の多様性について	2023年5月15日	島根県立総合教育センター	性の多様性についての認識と理解を深めるためのセミナー	1名	1名	1名	実施	実施
第6回 幼稚園・保育所・認定こども園職員研修会～音楽遊びについて	2023年6月15日	島根県立総合教育センター	音楽遊びによる認定こども園職員研修会の実践事例発表と意見交換	2名	2名	2名	実施	実施
職員研修会～アッセンブリについて	2023年7月15日	島根県立総合教育センター	アッセンブリによる職員研修会の実践事例発表と意見交換	1名	1名	1名	実施	実施
園内研修会	2023年8月15日	島根県立総合教育センター	園内研修会による職員研修会の実践事例発表と意見交換	1名	1名	1名	実施	実施
園内研修 (5歳児)	2023年9月15日	島根県立総合教育センター	5歳児向けの園内研修会による職員研修会の実践事例発表と意見交換	6名	6名	6名	実施	実施
園内研修 (4歳児)	2023年10月15日	島根県立総合教育センター	4歳児向けの園内研修会による職員研修会の実践事例発表と意見交換	6名	6名	6名	実施	実施
園内研修 (3歳児)	2023年11月15日	島根県立総合教育センター	3歳児向けの園内研修会による職員研修会の実践事例発表と意見交換	6名	6名	6名	実施	実施
園内研修 (2歳児)	2023年12月15日	島根県立総合教育センター	2歳児向けの園内研修会による職員研修会の実践事例発表と意見交換	5名	5名	5名	実施	実施
園内研修 (1歳児)	2024年1月15日	島根県立総合教育センター	1歳児向けの園内研修会による職員研修会の実践事例発表と意見交換	6名	6名	6名	実施	実施
園内研修 (0歳児)	2024年2月15日	島根県立総合教育センター	0歳児向けの園内研修会による職員研修会の実践事例発表と意見交換	4名	4名	4名	実施	実施

令和5年度 主な行事

月	園内(外)行事	保護者参加行事
4	入園のつどい	
5	芋苗植え（地域交流）・交通安全教室	保育公開・PTA総会
6	田植え体験（地域交流） コスモス・ひまわり苗植え（地域交流） 歯科健診・歯みがき指導	笹巻き作り 子育て講演会・クラス懇談会 (3・4・5歳児)
7	プール遊び コスモス苗植え（地域交流）	フリー公開・環境整備作業 夏まつり
8	プール遊び・川遊び こつころバースデー講座	
9	プール遊び・内科健診 芋掘り・コスモス祭り（地域交流） 交通安全教室 愛耕5歳児交流会	親子バス遠足（3・4・5歳児） 子育て講演会・クラス懇談会 (0・1・2歳児)
10	稲刈り体験・柿採り体験（地域交流） わくわくうんなんピック 加茂中学生との交流(夢発見ウォーク)	親子運動会・環境整備作業
11	加茂よつといで祭り参加ありがとうの会（地域交流） 加茂小学生との交流会	親子遠足（0・1・2歳児） フリー公開
12	クリスマス会	個人面談
1	新春のつどい・餅つき（地域交流）	
2	節分の集い 高齢者との交流（地域交流）	発表会（3・4・5歳児） 保育公開（0・1・2歳児）
3	入園前説明会・健康診断・おわかれ会 修了証書授与式・修了のつどい	環境整備作業
毎月	誕生会 発育測定 避難訓練 もぐもぐタイム 弁当日（7月～9月を除く）	